

<C1 発表や話し合い>動画を比較し、互いの技を高めていく活動

保健体育・中学校3年・器械運動（マット運動）

ねらい：自己や仲間の課題やその解決方法について、考えを伝え合う。

- ① 動きを高めるための技のポイントやイメージの把握、共有
 - ・大型モニターを使い、習得したい技を視聴する。
 - ・スローやコマ送り再生機能を使って、技のポイントを確認する。
 - ・教師が技のポイント図や写真を掲示し、常に活用できるようにする。
- ② 自己や仲間の課題や技能の高まりの確認、共有
 - ・ウゴトルやマルチビデオを活用して、ペアやグループで課題を見付けたり、練習方法を工夫したりする。
 - ・記録した動画を見直して、技のポイントや分かったことを全体で伝え合う。
 - ・タブレットPC内のメモに学習の成果を書き込み、振り返る。



期待される効果

自分や友達の技や演技を手本と比較することで、課題や目指す姿の把握、共有が容易になる。

動画をじっくり見合うことで、互いに事実を基にアドバイスができ、話し合いの活性化につながる。

使用する機能：

スロー、コマ送り、2画面並列、静止画、画面書込

使用アプリ例：

ウゴトル、MultiVideo 等